

4. 2 対外的発表

○ 学会等における口頭・ポスター発表

3. 1. 1 防災教育に対する知識構造的アプローチ

| 発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別） | 発表者氏名 | 発表場所（学会名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|---|---------------|--|------------|---------|
| 避難の意思決定に関する探索的研究－日本海沿岸住民に対する津波意識調査より－（口頭発表） | 関谷直也・田中淳 | 第14回地震工学シンポジウム（幕張メッセ） | 平成26年12月6日 | 国内 |
| 地震「想定」を考える（口頭発表） | 関谷直也 | 地震・火山科学と総合防災学の両共同研究拠点主催シンポジウム「南海トラフ巨大地震の災害リスク評価－社会の影響から地震発生まで振り返り、評価の不確実性と影響について考える－」（東京大学地震研究所） | 平成26年10月6日 | 国内 |
| 「避難」の神話と実態－津波避難をあらためて考える（口頭発表） | 関谷直也 | シンポジウム「災害を生き抜くために」第78回日本心理学会（同志社大学） | 平成26年9月11日 | 国内 |
| 日本海沿岸地域住民の津波リスク意識（口頭発表） | 定池祐季・関谷直也・田中淳 | 第33回日本自然災害学会学術講演会（鹿児島大学） | 平成26年9月25日 | 国内 |
| 避難の意思決定構造－日本海沿岸住民にたいする津波意識の調査から－（口頭発表） | 関谷直也・定池祐季・田中淳 | 第33回日本自然災害学会学術講演会（鹿児島大学） | 平成26年9月25日 | 国内 |

3. 2. 1. 1 歴史文書・地震記録の調査

| 発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別） | 発表者氏名 | 発表場所（学会名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|------------------------|-------|------------|------|---------|
| | | | | |

| | | | | |
|--|--|-------------------|-------------------|----|
| 地震・津波波形から推定される 1971 年サハリン西方沖の地震の断層モデル (ポスター) | 室谷智子・佐竹健治・原田智也・A. Loskutov・G. Shevchenko | 日本地震学会 2014 年秋季大会 | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国内 |
| Source process of large (M~7) earthquakes in the Japan Sea estimated from seismic waveforms and tsunami simulations (ポスター) | Murotani, S., T. Harada, and K. Satake | AGU fall meeting | December 17, 2014 | 国際 |

3. 2. 1. 2 津波堆積物の調査

| 発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別) | 発表者氏名 | 発表場所 (学会名等) | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|--|--|---------------------------------|---------------------|---------|
| 若狭湾沿い海岸低地における津波堆積物調査 (予報) (口頭発表) | 山本博文・ ト部厚志・ 佐々木直広・ 高清水康博・ 片岡香子 | 日本地球惑星科学連 合大会 2014 年横浜大 会 | 平成 26 年 5 月 2 日 | 国内 |
| 若狭湾沿いの海岸平野における津波堆積物調査 (口頭発表) | ト部厚志・ 山本博文・ 佐々木直広・ 高清水康博・ 片岡香子 | 日本第四紀学会 2014 年大会 | 平成 26 年 9 月 6 日 | 国内 |
| 若狭湾沿い海岸平野におけるトレンチ、コアリングによる津波堆積物調査 (口頭発表) | 山本博文・ ト部厚志・ 佐々木直広・ 高清水康博・ 片岡香子 | 日本地質学会第 121 年学術大会鹿児島大 会 | 平成 26 年 9 月 13 日 | 国内 |
| 福井地域の海岸平野における津波堆積物調査 (口頭発表) | ト部厚志・ 山本博文・ 佐々木直広・ 高清水康博・ 片岡香子 | 日本地質学会第 121 年学術大会鹿児島大 会 | 平成 26 年 9 月 13 日 | 国内 |

| | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|----|
| 福井の津波調査の現状と津波の可能性について（口頭発表） | 山本博文・ ト部厚志・ 佐々木直広 | 日本応用地質学会中部支部研究発表会 | 平成 26 年 10 月 17 日 | 国内 |
| 福井県沿岸の津波の可能性と津波堆積物調査（口頭発表） | 山本博文 | 平成 26 年度防災・日本再生シンポジウム福井 | 平成 26 年 11 月 2 日 | 国内 |
| 日本海東縁の古津波堆積物と巨大津波履歴（口頭発表） | 平川一臣 | 日本地震学会 2014 年度秋季大会 | 平成 26 年 11 月 24 日 | 国内 |

3. 2. 2. 1 沖合構造調査

| 発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別） | 発表者氏名 | 発表場所（学会名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|--|--|---------------------|-------------------|---------|
| 地震探査による日本海の地殻構造研究の最近の成果と今後の展開（口頭発表） | 野徹雄，佐藤壮，小平秀一，石山達也，佐藤比呂志，高橋成実，及川信孝，金田義行 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |
| 地震探査による日本海・日本海盆南縁部および海陸遷移域の V_p/V_s 構造（口頭発表） | 佐藤壮，野徹雄，小平秀一，高橋成実，金田義行 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |
| 深海調査研究船「かいれい」で探る日本海の地震の謎（口頭発表） | 野徹雄 | 海フェスタ京都 | 平成 26 年 7 月 22 日 | 国内 |
| 屈折法地震探査による日本海・日本海盆南縁部の V_p/V_s 分布（口頭発表） | 佐藤壮，野徹雄，小平秀一，高橋成実，金田義行 | 日本地震学会 2014 年 秋季大会 | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国内 |
| 能登半島西方沖～大和堆における地殻構造探査（ポスター発表） | 野徹雄，佐藤壮，小平秀一，石山達也，佐藤比呂志 | 日本地震学会 2014 年 秋季大会 | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国内 |

| | | | | |
|---|--|-----------------------|-------------------|----|
| Crustal construction along arc-backarc transition zone in the Japan Sea and implications for seismogenic processes (口頭発表) | Shuichi Kodaira, Tetsuo No, Takeshi Sato, Hiroshi Sato | 2014 AGU Fall Meeting | 平成 26 年 12 月 19 日 | 国際 |
| 「日本海地震・津波調査プロジェクト」の地震探査による能登半島西方沖～大和堆の地殻構造 (口頭発表) | 野徹雄, 佐藤壮, 小平秀一, 三浦誠一 | Blue Earth '15 | 平成 27 年 3 月 20 日 | 国内 |
| 日本海・能登半島西方沖大陸棚～南部大和海盆～大和堆の屈折法・反射法地震探査 (ポスター発表) | 佐藤壮, 野徹雄, 三浦誠一, 小平秀一 | Blue Earth '15 | 平成 27 年 3 月 20 日 | 国内 |

3. 2. 3. 沿岸海域および海陸統合構造調査

| 発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別) | 発表者氏名 | 発表場所 (学会名等) | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|---|-------------------------------------|---------------------|------------------|---------|
| 「日本海地震・津波調査プロジェクト: 上越・北陸沖地殻構造探査の成果」(口頭) | 佐藤比呂志・石山達也・白石和也・阿部 進・加藤直子・蔵下英司・武田哲也 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |
| 「日本海地震・津波調査プロジェクト: 上越沖地殻構造探査の成果」(ポスター) | 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也・白石和也・阿部 進・蔵下英司 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |
| 「日本海地震・津波調査プロジェクト: 金沢・能登沖地殻構造探査の成果」(ポスター) | 佐藤比呂志・石山達也・白石和也・阿部 進・加藤直子・岩崎貴哉 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |

| | | | | |
|---|--|--|-------------------|----|
| 「日本海地震・津波調査プロジェクト: 富山トラフ横断海陸統合探查測線」(ポスター) | 石山達也・加藤直子・佐藤比呂志・白石和也・阿部 進・武田哲也・蔵下英司 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |
| 2013 年北陸沖地殻構造探查の成果ー背弧中絶リフトの地殻構造 (口頭) | 佐藤比呂志ほか | 石油技術協会春季講演会 新潟 | 平成 26 年 6 月 5 日 | 国内 |
| 北部フォッサマグナおよび北陸沖の地殻構造: 北米プレート境界は存在するか? (口頭) | 佐藤比呂志・石山達也・加藤直子・稲葉 充 | 日本地質学会第 121 年学術大会 鹿児島 | 平成 26 年 9 月 15 日 | 国内 |
| 富山トラフ周辺地域の浅部～深部地殻構造と活構造 (口頭) | 石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・阿部 進・白石和也・東中基倫・越谷 信・小林健太・武田哲也・松原誠・戸田 茂 | 日本地質学会第 121 年学術大会 鹿児島 | 平成 26 年 9 月 15 日 | 国内 |
| 二船式反射法地震探查からみた能登半島西方沖から金沢沖にかけてのアクティブテクトニクス (口頭) | 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也・阿部 進・白石和也 | 日本地質学会第 121 年学術大会 鹿児島 | 平成 26 年 9 月 15 日 | 国内 |
| Crustal structure of failed inner rift along the Sea of Japan coast of Honshu, Japan (口頭) | H. Sato, T. Ishiyama, N. Kato, S. Abe, H. Saito, K. Shiraishi, T. Iwasaki, E. Kurashimo, T. No, T. Sato, S. Kodaira, Takeda, M. Matsubara, | 16TH SEISMIX International Symposium (International Symposium on Multi-scale Seismic Imaging of the Earth's crust and Upper Mantle), Spain | 平成 26 年 10 月 16 日 | 国外 |

| | | | | |
|---|---|---|----------------------|----|
| | M. Inaba and T. Kawamoto | | | |
| Seismic reflection profiling for the mapping of earthquake source faults in back arc of central Japan (ポスター) | N. Kato, H. Sato, T. Ishiyama, S. Abe, K. Shiraishi | 16TH SEISMIX International Symposium (International Symposium on Multi-scale Seismic Imaging of the Earth's crust and Upper Mantle), Spain | 平成 26 年 10 月 16 日 | 国外 |
| 地震探査からみた新潟 堆積盆地東縁の活断層 と震源断層 (口頭) | 加藤直子・佐藤 比呂志・石山達 也 | 日本地震学会 2014 年 度秋季大会 朱鷺メ ッセ (新潟市) | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国内 |
| 新潟堆積盆地の活断層 の構造的な特徴 (口頭) | 佐藤比呂志・石 山達也・加藤直 子・阿部進・白 石和也・ 斉藤秀雄・稲葉 充・野 徹雄・ 佐藤 壮・小平 秀一・武田哲 也・松原 誠 (防災科技研) | 日本地震学会 2014 年 度秋季大会 朱鷺メ ッセ (新潟市) | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国内 |

3. 2. 4. 陸域活構造調査

| 発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の 別) | 発表者氏名 | 発表場所 (学会名等) | 発表時期 | 国際・国 内の別 |
|--------------------------------------|---|-------------------------|---------------------|-------------|
| 呉羽山断層の高精度反 射法地震探査 (音川測 線) (口頭) | 石山達也・加藤 直子・佐藤比呂 志・越谷 信・ 戸田 茂・小林 健太・照井匡 子・近藤しお り・山内紘一・ 阿部紫織 | 日本地球惑星科学連 合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 29 日 | 国内 |

| | | | | |
|---------------------------|---|-------------------------------|-------------------|----|
| 北陸地域の活断層・変動地形と地殻構造の特徴（口頭） | 石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・武田哲也・蔵下英司 | 日本地球惑星科学連合 2014 年大会 | 平成 26 年 4 月 30 日 | 国内 |
| 日本海東縁部の活断層・変動地形の構造的特徴（口頭） | 石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・白石和也・阿部 進・斎藤秀雄・稲葉 充（石油資源開発）武田哲也・川本友久 | 石油技術協会春季講演会 朱鷺メッセ（新潟市） | 平成 26 年 6 月 6 日 | 国内 |
| 新潟堆積盆地の活断層の構造的な特徴（口頭） | 石山達也・佐藤比呂志・加藤直子・今泉俊文・白石和也・阿部進・斎藤秀雄・河合展夫・稲葉充・川本友久・小平千尋 | 日本地震学会 2014 年度秋季大会 朱鷺メッセ（新潟市） | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国内 |

3. 2. 5. 3 構成岩石モデルの構築

| 発表成果（発表題目、口頭・ポスター発表の別） | 発表者氏名 | 発表場所（学会名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|---------------------------|---------------|-----------------------------------|-------------------|---------|
| 曹灰長石ナノ多結晶体の焼結（ポスター発表） | 本多聡子 石川正弘 | 日本地質学会第 121 年学術大会，主催：日本地質学会 | 平成 26 年 9 月 13 日 | 国内 |
| ディオプサイドの細粒多結晶体の焼結（ポスター発表） | 坪川祐美子 石川正弘 | 日本鉱物科学会 2014 年年会，主催：日本鉱物科学会 | 平成 26 年 9 月 17 日 | 国内 |
| ディオプサイド細粒多結晶体の焼結（ポスター発表） | 坪川祐美子 石川正弘 | 「地殻ダイナミクスー東北沖地震後の内陸変動の統一的理解ー」研究集会 | 平成 26 年 10 月 20 日 | 国内 |

| | | | | |
|--|---------------------------------------|---|-------------------|----|
| 曹灰長石ナノ粉末を用いた多結晶体の作製 (ポスター発表) | 本多聡子 石川正弘 | 「地殻ダイナミクス－東北沖地震後の内陸変動の統一的理解－」研究集会 | 平成 26 年 10 月 20 日 | 国内 |
| 天然の単結晶を原料としたディオプサイド細粒多結晶体の焼結 (ポスター発表) | 坪川祐美子 石川正弘 | 第 5 回極域科学シンポジウム, 主催: 国立極地研究所 | 平成 26 年 12 月 2 日 | 国内 |
| Syntering of fine-grained diopside aggregates (ポスター発表) | Yumiko Tsubokawa Masahiro Ishikawa | Metamorphic Evolution and Asian Continental Growth, 主催: 九州大学大学院 地球社会統合科学府 | 平成 27 年 2 月 14 日 | 国際 |

3. 3. 1. 津波予測

| 発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別) | 発表者氏名 | 発表場所 (学会名等) | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|--|--|--|-------------------|---------|
| 2011 年東北地方太平洋沖地震発生直後の日本海沿岸での微小変動 (ポスター) | 室谷智子・岩井麻樹・佐竹健治 | 日本地球惑星科学連合大会 2014 年 | 平成 26 年 5 月 1 日 | 国内 |
| Interpretation of oscillations starting immediately after the 2011 Tohoku earthquake in the Japan Sea (ポスター) | Murotani, S., M. Iwai, K. Satake | AOGS 11th Annual Meeting | 平成 26 年 8 月 1 日 | 国際 |
| Toward the integration of seismic analysis and tsunami model for rapid inundation forecasting system (口頭発表) | Gusman, R. A. | Indian Ocean Tsunami 10th Anniversary Conference | 平成 26 年 11 月 25 日 | 国際 |

| | | | | |
|--|-------------------------------|-----------------------|-------------------|----|
| A Methodology for Near-Field Tsunami Inundation Forecasting (ポスター) | Gusman, R. A., and Y. Tanioka | AGU Fall Meeting 2014 | 平成 26 年 12 月 16 日 | 国際 |
|--|-------------------------------|-----------------------|-------------------|----|

3. 3. 2 強震動予測

| 発表成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別) | 発表者氏名 | 発表場所 (学会名等) | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|--|--------------------|--------------------|-------------------|---------|
| 微動探査による鳥取平野南部地域における地盤振動特性の把握および地盤構造推定 (口頭発表) | 野口竜也・香川敬生 | 第 34 回地震工学研究発表会 | 平成 26 年 10 月 9 日 | 国内 |
| 微動観測から推定される加賀平野南部及び邑知潟平野の地下速度構造 (口頭発表) | 浅野公之・岩田知孝・宮腰研・大堀道広 | 日本地震学会 2014 年秋季大会 | 平成 26 年 11 月 26 日 | 国内 |
| 微動探査による鳥取県内の強震観測地点における地盤振動特性の把握および地盤構造の推定 (ポスター発表) | 野口竜也・香川敬生 | 第 14 回日本地震工学シンポジウム | 平成 26 年 12 月 5 日 | 国内 |
| 微動アレイ観測と単点微動観測による加賀平野南部及び邑知潟平野の堆積平野速度構造モデルの検討 (口頭発表) | 浅野公之・岩田知孝・宮腰研・大堀道広 | 第 14 回日本地震工学シンポジウム | 平成 26 年 12 月 6 日 | 国内 |

○ 学会誌・雑誌等における論文掲載

3. 2. 2. 1 沖合構造調査

| 掲載論文（論文題目） | 発表者氏名 | 発表場所 （雑誌名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|--|---|--|------------------|---------|
| The source fault of the 1983 Nihonkai-Chubu earthquake revealed by seismic imaging | Tetsuo No, Takeshi Sato, Shuichi Kodaira, Tatsuya Ishiyayma, Hiroshi Sato, Narumi Takahashi, Yoshiyuki Kaneda | Earth and Planetary Science Letters | 平成 26 年 8 月 15 日 | 国際 |
| 日本海東部におけるマルチチャンネル反射法地震探査 | 野徹雄, 佐藤壮, 小平秀一, 高橋成実, 石山達也, 佐藤比呂志, 金田義行 | Jamstec Report of Research and Development | 平成 26 年 9 月 1 日 | 国内 |
| 地震探査から見る日本海東部における地殻構造 | 野徹雄, 佐藤壮, 小平秀一, 高橋成実 | 日本地震工学会会誌 | 平成 26 年 10 月 | 国内 |

3. 2. 5. 3 構成岩石モデルの構築

| 掲載論文（論文題目） | 発表者氏名 | 発表場所 （雑誌名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|---|-----------------------|---------------------|------------------|---------|
| 北上山地下の珪長質下部地殻と斜方輝石岩マントル：白亜紀スラブメルティングの証拠 | 石川 正弘, 松原 誠, 武田 哲也 | 岩石鉱物科学, 43, 100-107 | 平成 26 年 6 月 23 日 | 国内 |

3. 3. 1. 津波予測

| 掲載論文（論文題目） | 発表者氏名 | 発表場所 （雑誌名等） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|---|---|-----------------------------|---------------|---------|
| Tsunami Forerunner of the 2011 Tohoku Earthquake Observed in the Sea of Japan | Murotani, S., M. Iwai, K. Satake, G. Shevchenko and A. Loslutov | Pure and Applied Geophysics | 平成27年 3月1日 | 国際 |

○ マスコミ等における報道・掲載

3. 1. 3 地域研究会・合同地域研究会の実施

| 報道・掲載された成果 | 対応者氏名 | 報道・掲載機関 （新聞名・TV名） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|--------------|-------|----------------------|----------------|---------|
| 高齢化で自主防災は不十分 | 佐藤比呂志 | NHK 鳥取放送局 | 2014年 11月5日 | 国内 |
| “その時”安全守る行動 | 佐藤比呂志 | 日本海新聞 | 2014年 11月6日 | 国内 |

3. 2. 1. 2 津波堆積物の調査

| 報道・掲載された成果 | 対応者氏名 | 報道・掲載機関 （新聞名・TV名） | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|-----------------|-------|----------------------|-------------|---------|
| 富山県内における津波堆積物調査 | ト部厚志 | 富山新聞 | 2015年1 月 | 国内 |
| 富山県内における津波堆積物調査 | ト部厚志 | 北陸中日新聞 | 2015年1 月 | 国内 |
| 富山県内における津波堆積物調査 | ト部厚志 | 北日本新聞 | 2015年1 月 | 国内 |
| 富山県内における津波堆積物調査 | ト部厚志 | 北日本放送 | 2015年1 月 | 国内 |
| 富山県内における津波堆積物調査 | ト部厚志 | チューリップテレビ | 2015年1 月 | 国内 |
| 富山県内における津波堆積物調査 | ト部厚志 | 富山テレビ | 2015年1 月 | 国内 |

3. 2. 3 沿岸海域および海陸統合構造調査

| 報道・掲載された成果 | 対応者氏名 | 報道・掲載機関 (新聞名・TV名) | 発表時期 | 国際・国内の別 |
|------------------------------------|-------|----------------------|----------------|---------|
| 日本海側の地殻構造調査始まる | 佐藤比呂志 | 北日本放送(KNB ニュース) | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 東大地震研 佐藤教授グループ 黒部川河口付近に活断層か | 佐藤比呂志 | チューリップテ レビ | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 北陸沖で新たな活断層 黒部川河 口と能登半島 | 佐藤比呂志 | 福井新聞 | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 北陸沖で新たな活断層 黒部川河 口と能登半島 | 佐藤比呂志 | 佐賀新聞 | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 北陸沖で新たな活断層 黒部川河 口と能登半島 | 佐藤比呂志 | 中日新聞 | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 北陸沖で新たな活断層 黒部川河 口と能登半島 | 佐藤比呂志 | 共同通信社 | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 北陸沖2カ所で新たな活断層 東 大地震研 | 佐藤比呂志 | 産経ニュース | 2014年7 月7日 | 国内 |
| 入善沖と能登半島沖に新たな活断 層 東大地震研が調査結果を発表 | 佐藤比呂志 | 北國新聞 | 2014年7 月8日 | 国内 |
| 八尾ー石川沖の断層調査 東大地 震研 | 佐藤比呂志 | 読売新聞 | 2014年7 月8日 | 国内 |
| 北陸で新たな活断層 黒部川河口 付近と能登半島沖 | 佐藤比呂志 | 日本経済新聞 | 2014年7 月9日 | 国内 |
| 東大地震研がかほくなどで地殻調 査 | 佐藤比呂志 | 読売新聞中高新 聞 | 2014年7 月15日 | 国内 |